



カーポート&ガレージの種類と選び方

住まいづくりを考える時に、忘れてはいけないのが駐車スペースです。今や車は“一家に1台”とは限らず、2台、3台と所有する場合も多いようです。そこで今回は「カーポート&ガレージ」について解説します。



屋根と柱で作られたオープンな駐車スペース。屋根によって車の天敵である雨や雪、太陽の光から車を守ることができます。ただし、台風などで強い風が吹いた場合は、雨やほこりから車を守ることができません。

カーポート

カーポートには様々なサイズがあり、車1台用を設置している家が多いようですが、所有する車の台数に合わせて2台用、3台用といった複数台用のカーポートもあります。また、1台用にもそれぞれサイズがあり、車の大きさによって選びます。また、自転車やバイクを止めることができるようになっているものもあります。

● 片側柱タイプ

片側だけに柱を用い、出入りを便利にした、リーズナブルなタイプです。簡単な構造のため低コストで、比較的数量多く採用されています。また、コンパクトな仕様のため限られた駐車スペースを有効に活用できます。

● 両側柱タイプ

両側に柱を設置しているので、カーポートの中では比較的風に対する揺れ(耐性)に強いのが特長です。台風や強風だけでなく積雪にも強く、カーポートの中では頑強な構造になっています。片側柱タイプよりコストは高くなります。

● 後方柱タイプ

駐車スペースの後方に柱がある、あまり見かけないスタイルのカーポートです。両側に柱がないので、運転席、助手席とも車への出入りがスムーズに行えます。また、車庫入れ時にもスペースが確保でき、駐車がスムーズに行えるという特長があります。



屋根や壁、シャッターなどで作られた建物内の駐車場なので、しっかりと車を保護し、防犯性にも優れています。ただし、カーポートと比較して費用がかかる場合が多くなります。

ガレージ

ガレージはカーポートに比べ、しっかりとした構造で車を守ることができます。またガレージは建物内の一つの部屋として独立しているため、車を停めておく以外にも、車の部品やタイヤなどを収納する倉庫やホビールームとして、また子どもたちの遊び場としても、有効に空間を利用することができます。

● 独立タイプ



住宅とは別の建物として敷地内に設けるタイプのガレージです。家を建てるようにガレージを建設するので、デザインや空間に自分だけの希望を反映させることができます。敷地にゆとりが必要なので、狭小地の場合はおすすめできません。

● ビルトインガレージ

ビルトインガレージは、住宅とガレージが一体となったタイプです。住宅の1階部分にガレージを併設することになるので、敷地を有効活用することができます。ただし、1階にガレージを設けるので、ある程度は広い住まいを建築することが前提になります。

● ハウス併設のガレージ

住宅建設時にガレージを併設しているものであり、考え方はビルトインガレージとよく似ています。ビルトインガレージは、住宅の中の一部屋なので、間取り(位置)や構造に制約がありますが、ガレージハウスは独立した建物を併設しているため、広さや間取りなどの自由度は高くなります。



迷ったら、経験豊富な
ハウスマーカークに相談を!

